

## ■深大寺 お田植えの儀

ふるさと応援団総会翌週の6月9日(日)午後2時30分から、東京都調布市深大寺の境内において、木島平米お田植えの儀を執り行います。

これは、姉妹都市調布市の皆様や、深大寺への参拝客の皆様幅広く木島平米をPRすることを目的に行っているものであり、今回植えられた苗は秋の「稲刈りの儀」まで深大寺境内で大切に育てられます。

当日は、参道を早乙女が練り歩いた後(写真)、日墓村長、張堂住職、早乙女による田植えを行います。

また、木島平村の特産品の販売も行いますので、お近くの方はぜひお越しください。



## ■大型連休賑わう

今年的大型連休は10連休となったこともあり、木島平村も多くの観光客で賑わいました。

道の駅FARMUS木島平では、連日イベントが行われ、子どもからお年寄りまで、多くの方が来場し、思い思いに楽しんでいました。

また、5月1日には、「令和」への改元記念イベントとして、高社山山頂からご来光を仰ぐ登山イベントが行われ、まだ雪の残る高社山山頂から、大勢の方が令和最初のご来光を拝みました。



## ■総会のご案内

6月1日(土)は、ふるさと応援団木島平会の総会です。申込みをされた方は、時間までにお集まりください。

- ・日時 6月1日(土) 正午から(受付 11時30分から)
- ・会場 アルカディア市ヶ谷私学会館 4階鳳凰の間

# 昭和のあの頃

埼玉県戸田市 遠藤 寛子（中町出身）

ふるさとを離れて五十年。歲月過ぎても四季折々の木島平を忘れることはありません。

私は高社山を目の前に連なる山々を見て育ちました。

春、雪解けとともに咲きだすコブシや山桜、畔にはフキントやコゴミ、田んぼに水が張られると蛙の合唱で賑やかに、山々はゼンマイやワラビの山菜取りの時期を迎えます。友達とよく山菜取りに行ったのを懐かしく思い出します。

春の山は陽光に輝く緑の濃淡が心を弾ませ、咲き競うツツジやシヤガの花がとてもきれいでした。

夏、緑濃くなる田んぼから吹く風は心地よく、カボチャのつる棚の下には露天風呂、当時の家は風呂桶でどこでも移動が可能でした。夜はホテルが飛び、満月や天の川を見ながらの露天風呂が大好きでした。そして、毎年恒例の盆踊り、真新しいゆかたを着て踊り疲れたのを覚えています。

秋、山々が錦色に染まり田んぼには赤とんぼが群れる頃、稲刈りの始まりです。

子供も大事な働き手、稲の束を運んで稲こきをしている父に渡すのが役目でした。

稲刈りが終わると当時は（小学校）落穂ひろいがありました。現在では考えられない風景でしょう。

冬、高社山に初雪が降ると家々では冬支度の始まりです。十一月頃には里にも雪が降り長い冬を迎えます。思い出に残る遊びは1〜二月ごろの凍み渡りです。気温が氷点下になり空気がさらさらと輝くダイヤモンドダストの中をマスクでまつ毛を白くしながら、広い雪原を凍み渡りして登校するのが楽しみの一つでした。

その他、スキーや雪だるま、かまくらづくり、時には雪道に落とし穴を、そんないたずらも遊びでした。三月になると池の陽だまりからは春一番の福寿草が黄色い花を咲かせ、待ち遠しかった春の訪れを肌で感じて嬉しいものでした。

春夏秋冬、自然豊かな木島平で育ったことは今では私の宝であり、昭和時代の懐かしい思い出です。

昭和、平成の時代が幕を下ろし、五月一日から新元号「令和」の時代がスタートしました。昭和は遠くなりましたが木島平で培った心を大切に、ふるさと応援団木島平会の一員として尽力していきたいと思えます。

## 会報原稿募集中!

【毎月5日までに左記へ送付ください。】

【送付先】〒389

2392 木島平村役場内 ふるさと応援団事務局

FAX 0269824121

✉ seisaku@vil.kijimadaira.lg.jp